

初代 高橋半助(たかはし はんすけ)明治 22(1889)年～
在任 9年 10カ月

天保6年(1835)上江釣子生まれ。藤根小学校下等教師、江釣子小学校助手、上江釣子村の小学校開設に尽力し、自宅を開放して「上江釣子小学校」としました。

明治 22 年(1889)の岩手県の新市町村制のより、6ヶ村(上江釣子・下江釣子・鳩岡崎・滑田・新平・北鬼柳)合併による新村の初代村長に就任し、10年間にわたり江釣子村の基礎づくりに貢献しました。

**2代 平山義道**(ひらやま よしみち)明治 32(1899)年～
在任 4年 1カ月

文久2年(1862)花巻川口生まれ。稗貫東西和賀郡長の配下で郡役所の勧業係などを担当した後、明治 32 年(1899)1月 29 日に2代江釣子村長に就任。

北鬼柳尋常小学校と江釣子尋常小学校を統合して新校舎を建設するとともに、滑田尋常小学校も新築する案件の取りまとめに尽力しました。また、上江釣子地内に隔離病舎を建設して村民保健の向上にも努めました。明治 36 年(1903)2月 24 日退任。

**3代 後藤嘉津見**(ごとう かづみ)明治 36(1903)年～
在任 1年 4カ月

明治2年(1869)8月 17 日、元黒沢尻代官所御物書後藤藤八の長男として鳩岡崎村(堂前)に生まれる。後藤家は食邑(領地)90 余石といわれた郷士(その土地に住みついた武士)の家柄であり、当家に関する後藤文書はつとに有名です(現在の後藤雅章家)。

官僚村長であった平山義道の後任として明治 36 年(1903)2月 25 日に3代村長に就任。明治 37 年(1904)7月 1日退任。

**4代 竹村徳兵衛**(たけむら とくべえ)明治 37(1904)年～
在任 10年 10カ月

慶応2年(1866)2月6日、北鬼柳村佐藤九兵衛の二男として生まれる(兄は佐藤新蔵<県会議員・弁護士>)。明治 17 年(1884)黒沢尻村町分竹村フチの養子になる。

黒沢尻戸長横川謙吉のもとで書役をしていましたが、兄新蔵が亡くなり藤木の生家に戻る。明治 27 年(1894)3月県会議員に当選しましたが翌年辞職。

明治 37 年(1904)9月から大正4年(1915)7月まで4代村長を務めました。



5代 瀬川雅夫(せがわ まさお)

大正 4(1915)年～
在任 3年5カ月

文久2年(1862)9月20日、下江釣子村瀬川吉謙の長男として生まれる。明治17年(1884)5月3日、岩手医学校調剤課に月給7円で任命。明治37年(1904)の戦没記念碑には陸軍三等軍医正八位と刻まれています。大正4年(1915)11月18日の村会村長選挙で当選して5代村長に就任。職業としての医師と有給村長としての職務を継続。

無集配郵便局設置の申請や江釣子停車場設置の運動を推進するなど、前向きな積極的な施策が多い。大正8年(1919)7月9日辞職。



6代 清谷有信(きよたに ゆうしん)

大正 8(1919)年～
在任 1年6カ月

明治20年(1887)11月15日、下江釣子村通来寺住職石田賢随の二男として生まれる。早稲田大学政治経済学科を出て東京の貿易会社に入社。千葉県銚子の清谷家に入り法統を継ぐことになっていました。

大正8年(1919)8月30日、6代村長に選出される。大正10年(1921)3月30日辞表を提出して宮内省に入省。

太平洋戦争のため郷里に疎開していたが、昭和22年(1947)兄景因の跡を継ぎ通来寺の住職になりました。



7代 竹村徳兵衛(たけむら とくべえ)

大正 10(1912)年～
在任 8か月

明治44年(1911)9月県会に再出馬して4期を務め、国鉄誘致や県立黒沢尻中学の創設などに尽力しました。

大正10年(1912)8月1日、7代村長に就任。大正11年(1913)3月23日、現職のまま58歳で急逝。その顕彰碑は江釣子神社境内に建立され、永くその徳を称えています。



8代 伊藤荘太(いとう そうた)

大正 11(1913)年～
在任 1年8カ月

明治9年(1876)6月4日、上江釣子村伊藤弥惣六の長男として生まれる。幼名荘太郎、日露の役に従軍する時荘太に改名しています。

大正11年(1913)6月に8代村長に就任。大正13年(1915)1月31日辞職。



9代 佐々木昌之助(ささき しょうのすけ)

大正 13(1915)年～
在任 4年 10カ月

明治2年(1869)12月5日、西磐井郡永井村生まれ。和賀郡書記であったが、職務管掌臨時村長として県から派遣され大正 13 年(1915)2月1日着任。自ら儉約の範を示して職員を指導。財政の立て直しに努力する佐々木の誠意に村会も動かされ大正 13 年8月 22 日、正式に9代村長に就任。昭和5年(1930)6月6日退職。



10代 伊藤繁治(いとう しげはる)

昭和 5(1930)年～
在任 2年 10カ月

明治6年(1873)12月 10 日、上江釣子村伊藤弥四郎家に生まれる。幼名茂治。明治 19 年(1886)黒沢尻町熊谷岩蔵の養子になりましたが、明治 28 年(1895)に復籍して 33 年(1900)に繁治と改名しました。

明治 24 年(1891)岩手県尋常中学校(現盛岡一校)を卒業後、東京医学専門学校へ入学して医師になりました。母校の附属病院から村に帰り開業し、和賀病院へも勤務しました。明治 38 年(1905)学校医を委託され、トラホーム撲滅に尽力しました。

昭和5年(1930)8月に 10 代村長に就任。昭和8年(1933)6月 28 日辞任。



11代 高橋侃(たかはし がん)

昭和 8(1933)年～
在任 12年7カ月

明治 22 年(1889)9月 22 日、滑田高橋善業の長男として生まれる。幼名善三郎。

明治 42 年(1909)9月北海道巡查、大正 13 年(1924)岩手県警部として帰郷し久慈・二戸・水沢・花巻などの警察署長を歴任しました。

昭和8年(1933)8月 13 日、11 代村長に就任し、21 年(1946)3月 11 日退任。西部鉱山地帯の鉱毒問題解決に尽力しました。

昭和 10 年(1935)9月岩手県会議員に当選し、21 年(1946) 11 月まで 12 年間県政に参加しました。



12代 伊藤俊次(いとう しゅんじ)

昭和 21(1946)年～
在任 6カ月

明治 35 年(1902)9月 25 日、新平生まれ。

昭和8年(1933)から 21 年(1946)まで江釣子村会議員、昭和 15 年(1940)から 21(1946)年まで7代助役。昭和 21(1946)年5月から同年 11 月まで、12 代村長を務めました。



13代 菊池與右工門(きくち よえもん)

昭和 22(1947)年～
在任 12年

明治 35 年(1902)1月 30 日、上江釣子生まれ。

昭和 22 年(1947)4月 5 日、13 代村長に就任し3期務めて昭和 34 年(1959)年4月 29 日退任。この間、昭和 23 年(1948)から 33 年(1958)まで江釣子村農業協同組合長も務めました。昭和 30 年(1955)勲五等瑞宝章受章。昭和 44 年(1969)村勢功労表彰(地方自治)。



14代 高橋 藤作(たかはし とうさく)

昭和 34(1959)年～
在任 3年11カ月

明治 40 年(1907)12 月 25 日、上江釣子に生まれる。昭和 31 年(1956)10 月から 34 年(1959)4月まで及び昭和 47 年(1972)11 月から昭和 51 年(1976)11 月まで江釣子村教育長。昭和 34 年(1959)4月 30 日、14 代村長に就任。昭和 38 年(1963)年3月 20 日退任。昭和 38 年(1963)4月から 41 年(1966)3月まで岩手県議会議員。昭和 44 年(1969)村勢功労表彰(教育文化)。



15代 谷地畝弥吉(やちうね やきち)

昭和 38(1963)年～
在任 8年

明治 44 年(1911)8月 8 日、北鬼柳に生まれる。大正 14 年(1925)村役場書記に入職し昭和 21 年(1946)まで 22 年間村職員。昭和 21 年(1946)から 38 年(1963)まで村助役を5期 17 年。

昭和 38(1963)年4月 30 日、15 代村長に就任し2期務めて昭和 46 年(1971)4月 29 日退任。

昭和 51 (1976)年から 59 年(1984)まで和賀中央土地改良区理事長。昭和 46 年(1971)藍綬褒章受章(地方自治功労)。昭和 46 年村勢功労表彰(地方自治)。



16代 高橋源二郎(たかはし げんじろう)

昭和 46(1971)年～
在任 8カ月

大正 11 年(1922)1月 27 日、滑田に生まれる。

昭和 14 年(1941)花巻農学校卒業。兵役の後、昭和 21 年(1946)県営農指導員。昭和 26 年(1951)6月から 43 年(1968)5月まで江釣子村農業協同組合専務理事。昭和 34 年(1959)5月から 42 年(1967)3月まで江釣子村農業協同組合長。

昭和 46 年(1971)4月 30 日、16 代村長に就任。同年 12 月 31 日現職で逝去。昭和 47 年(1972)村勢功労表彰(故人表彰)。



17代 伊藤勇(いとう いさみ)

昭和 47(1972)年～
在任 4年8カ月

大正3年(1928)11月25日、下江釣子に生まれる。
昭和43年(1968)から48年(1973)まで江釣子村農業協同組合長。
昭和47年(1972)2月20日、17代村長に就任。昭和51年(1976)10月18日現職で逝去。昭和51年(1976)村勢功労表彰(故人表彰)。



18代 菊池秀雄(きくち ひでお)

昭和 51(1976)年～
在任 14年4カ月

昭和2年(1927)2月28日、上江釣子に生まれる。旧制黒沢尻中学校卒業。南方戦線に従事。戦後県庁に入職。
昭和51年(1976)11月21日、18代村長に就任し4期務めて平成3年(1991)3月31日、北上市・和賀町・江釣子村の合併により退任。
平成3(1991)年4月1日から平成6年(1994)5月31日まで北上市収入役。
平成8年(1996)市勢功労表彰。

